

## 株式会社ぐるなび

訪日外国人向けのサービスを  
機械翻訳で加速！

ぐるなび

## ■企業情報

社名	株式会社ぐるなび
設立年月日	1989年10月2日(会社設立) 2000年2月29日(株式会社ぐるなび発足)
所在地	東京都千代田区有楽町1-2-2 東宝日比谷ビル6F
資本金	2,334百万円(2011年12月31日現在)
事業内容	パソコン・携帯電話などによる飲食店の インターネット検索サービスその他関連する事業
従業員数	単体1,283名 連結1,361名(2011年3月31日現在)

## + 導入背景・課題

日本食はヘルシーな料理として世界中から注目され、多種多様な日本の飲食店は外国人観光客に驚きと感動を与えています。弊社では、2004年から、東京を中心とした飲食店情報を翻訳してきましたが、年々多用化する観光客のニーズに応えきれないという実感がありました。そこで、全国で50,000店を超える弊社加盟の飲食店情報を翻訳しようと検討したのですが、従来の方法では莫大なコストと時間を要するため、ローコストでスピーディーに対応できる方法はないかと、模索を始めたのが、機械翻訳の導入検討をするきっかけとなりました。

株式会社ぐるなび  
増田 勝宣氏

## + 翻訳ソリューション・ポイント

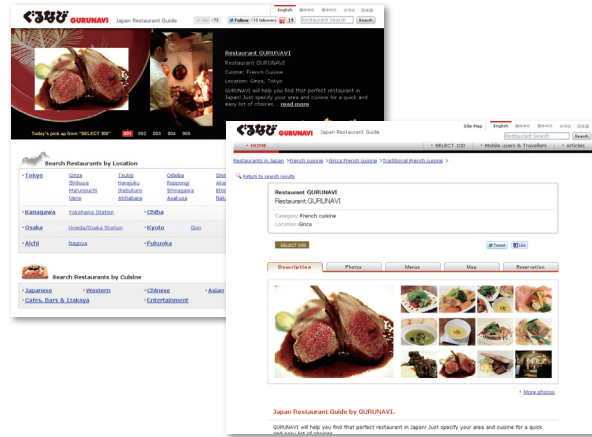
導入検討時、機械翻訳は精度が低く使い物にならないという意見が社内でも多くありました。実際、大手ポータルサイトの自動翻訳を利用して飲食店情報の翻訳を試したところ、納得できる結果には至りませんでした。そこで、飲食店の全ての情報に対して利用するのではなく、住所や営業時間などの基本情報での利用を検証しました。結果、基本情報の翻訳に対しては十分な結果を出すことができ、品質保持をしていけるという判断になり、全国50,000店以上の飲食店に外国語での紹介ページを掲載することが可能となりました。飲食店の情報量は膨大であるため、随時、翻訳辞書を更新するなど、翻訳精度を常に高めていける体制で運用しています。

株式会社ぐるなび

訪日外国人向けのサービスを機械翻訳で加速！

## + 導入結果・効果

明確に効果が現れたのは、運用コストです。今までは、飲食店の住所変更などがあった場合、逐一翻訳会社へ発注していましたが、基本情報は機械翻訳で対応できるようになったため、その部分の人員コスト削減と、対応期間の短縮に成功しました。削減したコストは、スマートフォン向けアプリの開発や、外国語による音声サポート付き会話集の開発など、サービス向上に充てています。また、全国47都道府県、50,000件以上の飲食店情報の掲載が可能になり、観光客だけでなく在日の外国人からも好評を得ています。



## + 今後の展望

スマートフォンによる通訳機能など、世の中の言語という壁は今後ますます低くなっていきます。飲食店情報を翻訳して掲載するというのは最終目的ではなく、日本と世界が互いの文化を共有し合える場を提供し、より豊かなグローバル社会実現の一役を担っていきます。機械翻訳の導入では、その一つの基盤ができたと考えています。今後は、基本情報だけでなく、日本の食文化をより広く世界に発信できるよう、メニューやレシピ分野での活躍にも期待をしています。